社協だより
ふくしのまち福岡
2023年・秋号
NO. 131
南区版

社会福祉法人福岡市社会福祉協議会
南区社協事務所（南区社会福祉協議会）
福岡市南区塩原3-25-1　南区役所別館1階
TEL：092-554-1039　FAX：092-557-4068
Eメール：minamiku@fukuoka-shakyo.or.jp

地域での子どもの居場所づくり

～元気いっぱい！“みんなのサロン”～

西長住校区

▲みんなで作ったおにぎり、いただきます！

令和5年7月、小学校の夏休み期間に合わせて、子どもたちの居場所“みんなのサロン”がスタートしました。「長期の休みになると、子どもたちの学習や孤食などが心配…」という主任児童委員等の思いから、校区社協で立ち上げるに至りました。

午前中は持参した宿題に取り組み、答えが分からず悩んでいる子どもには、見守りボランティアがそっと手を差し伸べてくれます。昼食はみんなでおにぎりを作り、楽しく食べて「また明日ね」と子どもたちの元気な声が響きます。

参加申し込みは、LINE（ライン）やGoogle（グーグル）フォーム等を活用し、保護者との連絡を密にとることで、安全面にも配慮しています。

西長住校区社協の中塚恭子会長は「初めての試みでしたが、多くの人の手助けによって運営が成り立ちました。今後も継続実施を目指し、地域で出来ることに取り組んでいきます」と話されました。

▲宿題も頑張っています。

“認知症の人も、その家族も”
～安心して暮らせるまちづくり～

弥永西校区
～認知症高齢者声かけ訓練～

「認知症の方が困っている時に、積極的に声かけできるような地域にしたい」と、そんな地域を実現するため弥永西校区社協の皆さんが中心となり、認知症の方が困っている時の声のかけ方や対応を体験する模擬訓練を令和5年7月29日に実施しました。

「様々な場面でどのように声かけをするか」をテーマに、参加者46名が3人1組になり、認知症役の方に声かけする体験をしてもらいました。

「意外と難しい」との声もありましたが、認知症役を演じた介護事業所の職員の助言も受け、認知症の方を理解するための貴重な機会となりました。

参加者からは「不安な気持ちを理解することが大切」「やさしく声をかけて安心してもらいたい」等、あたたかみのある声が寄せられました。

▲声かけの様子を学習

▲声かけ体験中

西花畑校区
～認知症サポーター養成講座～

西花畑校区社協では、令和5年7月16日に、町内会長や民生委員等を対象に「認知症サポーター養成講座」を実施しました。認知症について、紙芝居や実際の事例を使って学習したり、声のかけ方について体験したりと、多くのことを学ぶ機会となりました。

今後も、小中学生向けのキッズ向け講座やより理解を深めるステップアップ講座へとつなげていき、認知症の方や家族を地域全体で支える輪をひろげていきたいと思います。

塩原校区に誕生した「認知症カフェ」
けんカフェOPEN!

みんなでお茶しましょう♪

認知症について気軽に話せる集いの場「けんカフェ」が、令和5年6月より塩原公民館で開催されています。認知症のご本人も、その家族も、また認知症に関心のある方でも、どなたでも参加自由です。

カフェを立ち上げたのは、同校区在住の篠﨑恵子さん。自らも認知症の母親を介護する中で、認知症の方も介護する家族もホッと一息つける居場所の必要性を感じたそうです。開催は不定期ですので、参加してみたい方は、@fukuokakencafe(X：旧ツイッター)をチェックもしくは南区社協までお問合せください。

篠﨑さんのお父様「けん爺」が美味しいコーヒーをふるまってくれますよ。

▲20代も80代もオセロでいい勝負!

▲けん爺

この広報紙は共同募金配分金及び賛助会費を主な財源として作成しております。